

# 訪問看護事業所の運営に関する実態調査 報告書

2026年2月

## < 目次 >

I 調査方法の目的と方法	P. 1
II 調査結果の概要	P. 1～ 4
III アンケート調査結果	
1. 事業所の属性	P. 5～ 7
2. 事業所の体制	P. 8～15
3. 夜勤体制	P. 15～16
4. 利用者人数	P. 17
5. 経営状況	P. 17～19
6. 保険外サービスの実施状況	P. 19
7. 今後の事業展開	P. 20～21
8. 岩手県訪問看護総合支援センター	P. 21～22

## I 調査方法の目的

### 1. 目的

2023年度2024年度のアンケート調査の追跡調査を行い、訪問看護事業所の人材確保や運営状況を把握し、訪問看護事業所支援のあり方を検討することを目的とする。

### 2. 調査対象

岩手県内訪問看護ステーション135箇所力所の看護管理者等（岩手県ホームページ 訪問看護事業所一覧2025年10月1日現在データ使用）

### 3. 実施期間

2025年11月5日～2025年12月20日

### 4. 実施方法

・調査用紙等の郵便配布

① 依頼文、②調査用紙、③返信用封筒を一齐に郵送にて送付を行った。

・調査票は同封した封筒にて2025年12月20日までに返信の協力を依頼し、回収を行った。

・メーリング参加事業所に対しては、メールの返信での回答も可とした。

### 5. 調査項目

事業所の属性、事業所の体制、夜間勤務体制、利用者数、経営状況、保険外サービスの実施状況、今後の事業展開、訪問看護総合支援センター事業評価について

### 6. 調査への参加について

依頼文に調査参加は自由意志であること、調査に協力しない事での不利益が生じないこと、事業所名が特定されないよう十分に配慮することを記載し、調査を実施した。

### 7. 結果の公表

岩手県看護協会のホームページに掲載する予定。

調査項目のうち「事業所名」及び「問9」について、岩手県において訪問看護の利用を検討している方の参考情報として公表する予定。

### 8. 調査票配布数と回答事業所数

135箇所に調査票を郵送し、返信が83件であった。(回収率61.5%)

## II 調査結果の概要

### 1. 事業所の属性

1) サテライトの有無: サテライトがある事業所は7か所あり、2事業所はサテライトを3～4カ所と複数あるという結果であった。

2) 住所地: ステーション数は、県北沿岸が少ない傾向。

3)開設年:開設年は5~10年が23%、次いで1年~3年未満・10~15年未満・20年以上が12カ所と同数であった。

4)開設主体:株式会社が一番多く38.6%、次いで医療法人で25.3%となっている。

5)併設する施設・事業所:併設する事業所として1番多いものは居宅介護事業所であった。併設事業所のある61事業所中では60.7%にあるという回答だった。次いで併設なしの事業所で、回答のあった事業所のうち24.4%であった。

## 2. 事業所の体制

### 1) 看護職員数

(1) 常勤:2~5名が67%と多い。

(2) 非常勤:非常勤看護師を雇用していない事業所が20事業所あった。

(3) 常勤換算:2.5~5未満が48%と半数程度占めており、小規模事業所が多いことが分かる結果となった

2)職種別従業員数:看護師は、5名以下で運営している事業所が半数以上ある。

看護師の他の職種で一番多い職種は事務職員であり、回答のあった事業所のうち半数程度の事業所で事務職員がいるという結果となった。

3)看護師の保有資格:ケアマネージャーが一番多く、次いで保健師であった。

認定看護師や専門看護師、特定行為研修や医療的ケア児等コーディネータの研修修了者も複数名いることが分かった。

4)対応しているサービス:要支援は、9割の事業所が実施している。

介護保険の利用者に対してサービスを行っていない事業所は、精神や小児に特化している事業所である。

医療保険のサービスの中で、小児への訪問が一番少ない。神経難病と末期がんは8割以上の事業者が対応可能である。

(1) 小児のサービス内容:・小児に対応している事業所の中で、発達障害に対応している事業所は6割以上である。

・医療的ケア児・者の中でケアの内容で一番多いものは経管栄養である。次いで吸引となっている。

人工呼吸器を受け入れている事業所は、20事業所で5割以上が対応可能である

・重症心身障がい児・者の発生原因としては、先天性疾患の方が6割以上である。

(2)小児を受けられない理由:小児を受け入れられない理由として、経験・知識不足が7割以上と多い。

(3)神経難病の対応医療処置:痰の吸引が一番多い。次いで胃ろう、在宅酸素の順であった。

(4)神経難病を受けられない理由:神経難病を受けていない事業所は、全体の13.3%であった。一番多い理由としては依頼がないであった。

(5)末期がんの対応医療処置:一番多いものは、末梢点滴と痰の吸引で、次いで看取りという結果となった。

(6)末期がんを受けられない理由:末期がんを受けていない事業所は、全体の10.8%であった。

#### 5)学校看護師などの連携について

(1)連携依頼:半数近くの事業所で依頼があれば連携を受けるといった結果になった。

(2)対応可能なもの:一番多いものは、近隣の学校であれば対応可能との結果であった

### 3. 夜間勤務体制

1)勤務体制:夜勤体制の事業所は、ほとんどが施設併設の事業所である。夜間の勤務体制はオンコールが全体の9割を占めている。

2)オンコール対応体制:1人の職員が対応という事業所が48%と多かった。

3)オンコール対応体制の課題:オンコールの対応の課題としては、「精神的・身体的負担が大きい」ことが一番の課題で、次いで「夜間・休日対応できる看護師が限られるため負担が偏る」であった。

### 4. 利用者数:利用者数は、ステーションの規模や職員の数でも違いがあると思うが、51~100名の利用者の事業所が4割と一番多い結果となった。

1)介護保険と医療保険の比率:一番多いのが全国的にも言われている介護保険8割の事業所であった。また、医療保険の利用者がいない事業所が7事業所あった。介護保険の利用者がいない事業所は4事業所あり、いずれも精神疾患に特化している事業所である。

### 5. 経営状況

1)2024年の収支状況:収支の状況として、赤字の事業所が3割近くある。

2)新卒看護師の雇用:はい2事業所中1事業所は1人新卒看護師を雇用した。もう1つの事業所は人数欄未記入であった。

3)ICT導入の実施状況:ICT導入は、7割の事業所が導入している。

4)導入しているICTの種類:ICTを導入している事業所すべてが看護記録システムの導入はしている。次いで事業所外で記録や報告書ができるものとなった。

5)暴力・ハラスメントの有無:半分以上の事業所がハラスメントと感じる事案を把握している。また、4割ほどの事業所は特にないと回答。

6)暴力・ハラスメントの対策:複数名訪問と報告相談窓口の設置が多い結果となった。

### 6. 保険外サービスの実施状況

1)サービス・事業・活動:事業所の6割以上が保険適用外のサービス・事業・活動を実施していないという結果となった。実施している事業所の中で地域イベントの参加は、4割以上の事業所が実施していた。

### 7. 今後の事業展開

1)事業規模の拡大意向:拡大する方向と拡大したいが難しいの中で拡大の意向あり51事業所あり、回答得られた事業所内の61%であった。

- 2) 拡大意向の理由: 拡大意向の理由として、「規模を拡大し収益を増加、経営の安定を図りたい」「職員の給与・手当を増額したい」「職員の夜間・休日対応の負担を減らしたい」が多い結果となった。
- 3) 拡大が困難な理由: 63事業所から回答があった。事業拡大が困難な理由としては、「安定的な利用者確保が難しい」と「看護職員の人材確保が難しい」が主な理由であった。

#### 8. 岩手県訪問看護総合支援センター事業評価

- 1) 設立の評価: 回答を得られた事業所の76%は、「良かった」「まあまあ良かった」という評価であり、それ以外は事業を活用していない事業所がほとんどである。
- 2) 設立の効果: 支援センターの効果としては、相談支援と研修の開催が主なものであった。
- 3) 期待する事: 運営指導(個別)、業務継続計画(BCP)研修、法定研修、新任訪問看護師の育成(指導者向け)の研修、研修のZoom配信、オンデマンド配信、研修場所の検討(県南・県北・沿岸)

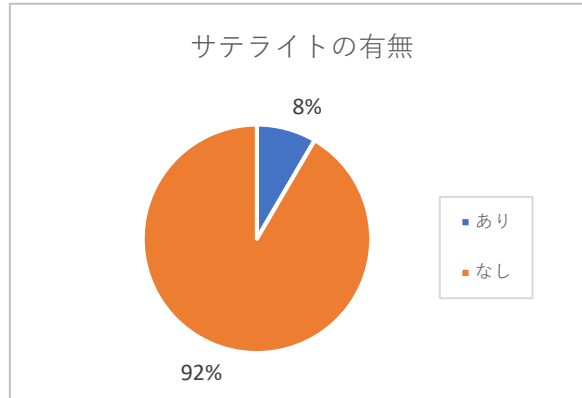
### Ⅲアンケート調査報告(2025)

#### 1. 事業所の属性

##### 1) サテライトの有無

表1

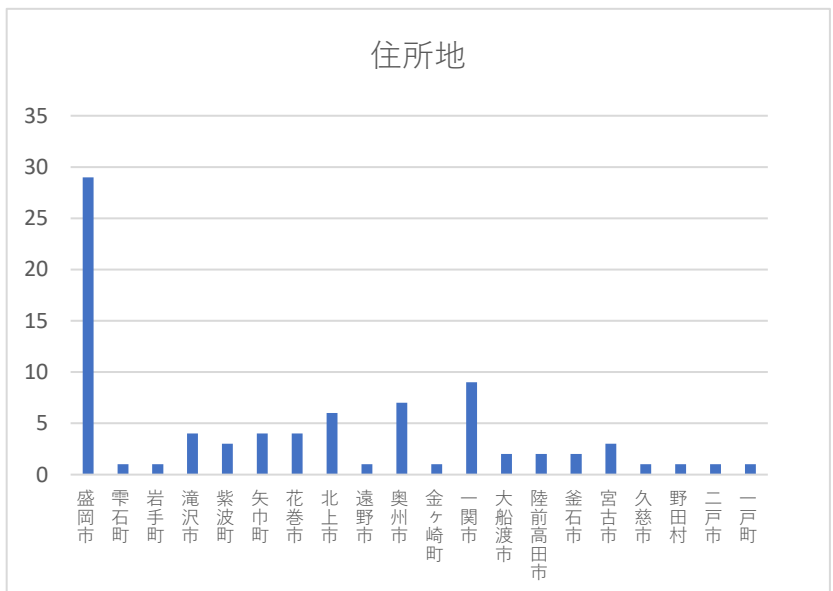
あり	7
なし	76



##### 2) 住所地(二次医療圏別)

表2

盛岡	盛岡市	29	42
	雫石町	1	
	岩手町	1	
	滝沢市	4	
	紫波町	3	
	矢巾町	4	
岩手中部	花巻市	4	11
	北上市	6	
	遠野市	1	
胆江	奥州市	7	8
	金ヶ崎町	1	
両磐	一関市	9	9
気仙	大船渡市	2	4
	陸前高田市	2	
釜石	釜石市	2	2
宮古	宮古市	3	3
久慈	久慈市	1	2
	野田村	1	
二戸	二戸市	1	2
	一戸町	1	
計			83

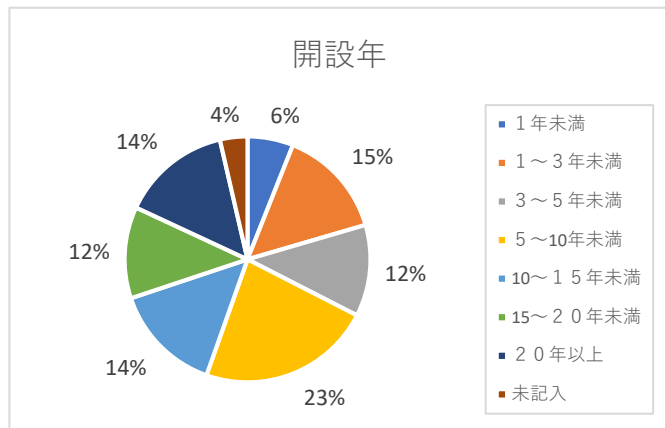


R7.11現在届出 盛岡71 岩手中部18 胆江9 両磐16 気仙6 釜石2 宮古8 久慈4 二戸2

3)開設年

表3

1年未満	5
1～3年未満	12
3～5年未満	10
5～10年未満	19
10～15年未満	12
15～20年未満	10
20年以上	12
未記入	3

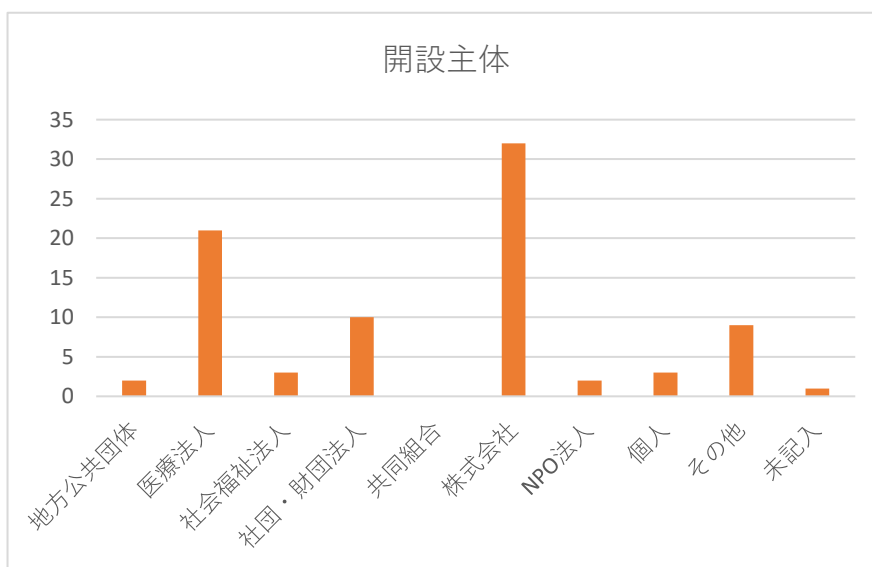


4)開設主体

表4

	事業所数	割合
地方公共団体	2	2.4%
医療法人	21	25.3%
社会福祉法人	3	3.6%
社団・財団法人	10	12.0%
共同組合	0	0.0%
株式会社	32	38.6%
NPO法人	2	2.4%
個人	3	3.6%
その他	9	10.8%
未記入	1	1.2%

\*その他・・・合同会社(6)独立行政法人(1)  
法人(1)有限会社(1)



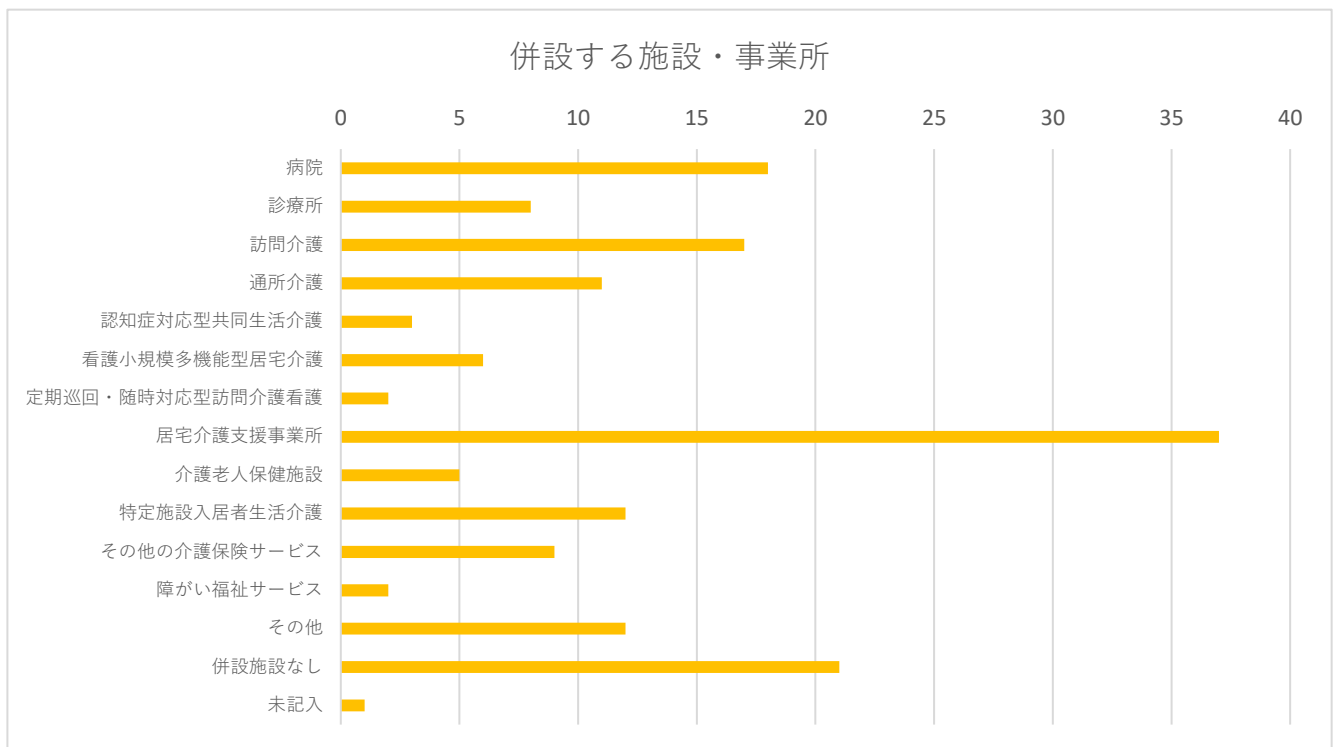
5)併設する施設・事業所(複数回答)

表5

併設事業所あり	病院	18
	診療所	8
	訪問介護	17
	通所介護	11
	認知症対応型共同生活介護	3
	看護小規模多機能型居宅介護	6
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2
	居宅介護支援事業所	37
	介護老人保健施設	5
	特定施設入居者生活介護	12
	その他の介護保険サービス	9
	障がい福祉サービス	2
	その他	12
	併設施設なし	21
未記入	1	

\*併設する施設・事業所のない訪問看護ステーションは24.4%

\*その他で記入のあったものは、通所リハビリ、訪問リハビリ、在宅クリニック

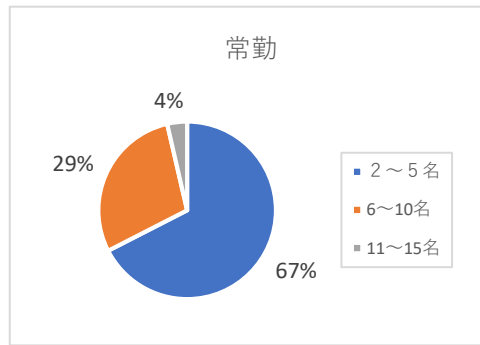


## 2. 事業所の体制

### 1) 看護職員数

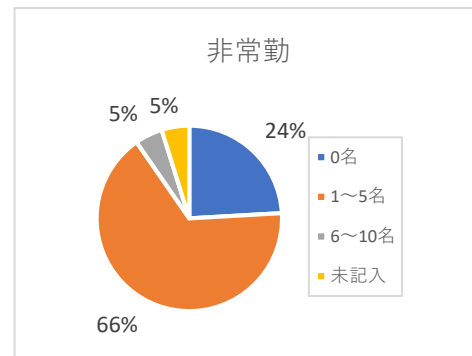
#### (1) 常勤 表6

2～5名	56
6～10名	24
11～15名	3



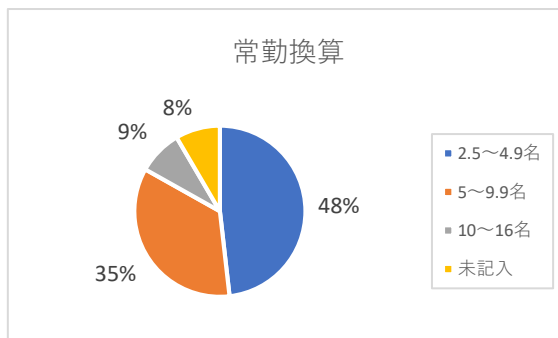
#### (2) 非常勤 表7

0名	20
1～5名	55
6～10名	4
未記入	4



#### (3) 常勤換算 表8

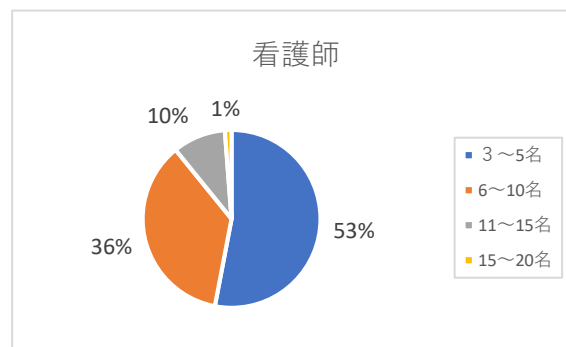
2.5～4.9名	40
5～9.9名	29
10～16名	7
未記入	7



### 2) 職種別従業員人数

#### <看護師> 表9

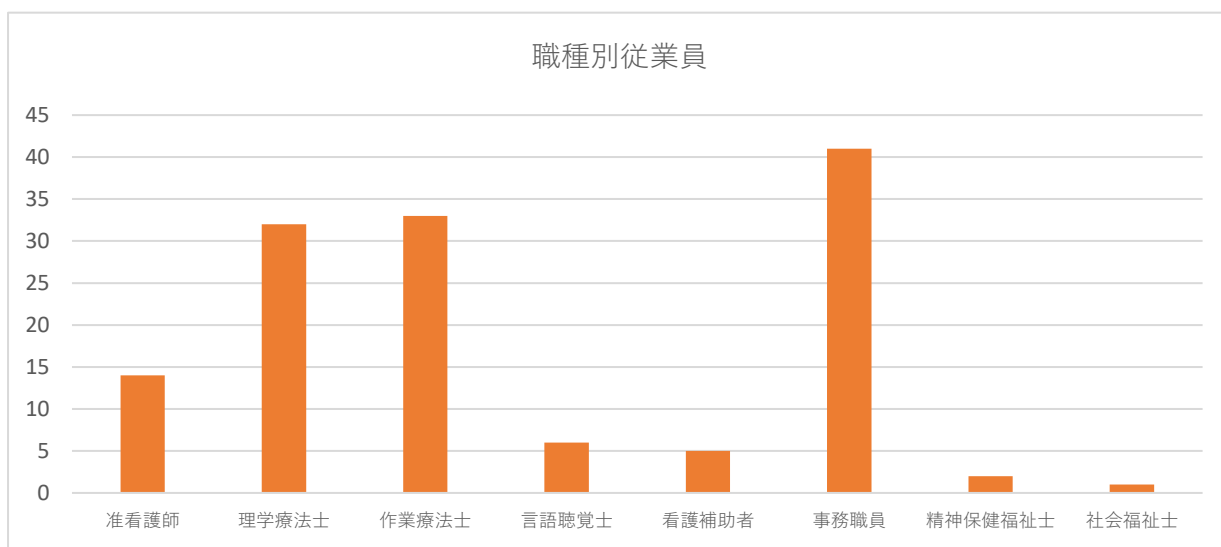
3～5名	44
6～10名	30
11～15名	8
15～20名	1



<看護師以外>

表10

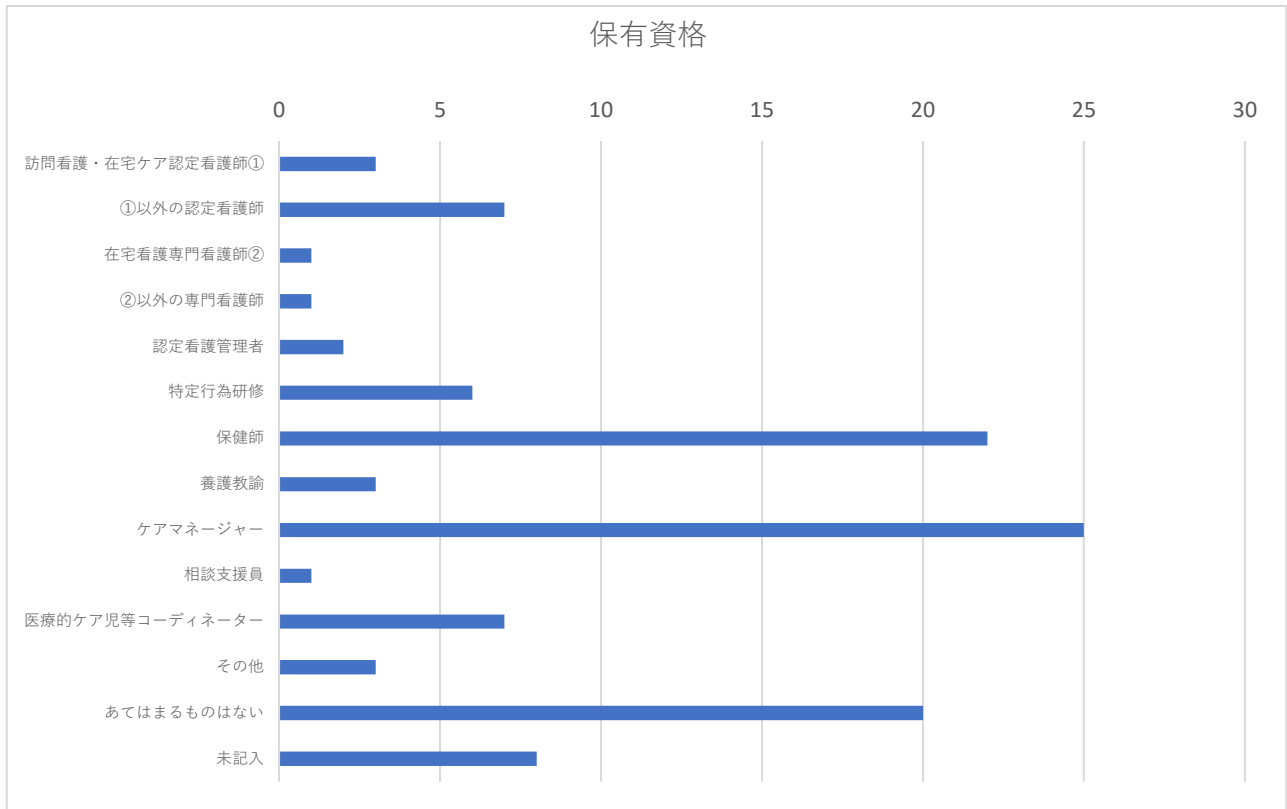
職種	人数	事業所数
准看護師	1~5名	14
理学療法士	0.1~7名	32
作業療法士	1~4名	33
言語聴覚士	1~2名	6
看護補助者	1~4名	5
事務職員	1~5名	41
精神保健福祉士		2
社会福祉士		1



3)看護師の保有資格(複数回答)

表11

資格	人数	事業所数
訪問看護・在宅ケア認定看護師①	1~2名	3
①以外の認定看護師	1~5	7
在宅看護専門看護師②	1名	1
②以外の専門看護師	1名	1
認定看護管理者	1名	2
特定行為研修	1~4名	6
保健師	1~4名	22
養護教諭	1名	3
ケアマネージャー	1~5名	25
相談支援員	1名	1
医療的ケア児等コーディネーター	1~4名	7
その他		3
あてはまるものはない		20
未記入		8



#### 4)対応しているサービス内容

<介護保険> 表12

	事務所数	割合
要支援	74	89.2%
要介護	78	94.0%

<医療保険> 表13

	事務所数	割合
小児	38	45.8%
神経難病	72	86.7%
末期がん	74	89.2%
精神疾患	49	59.0%
リハビリ	41	49.4%

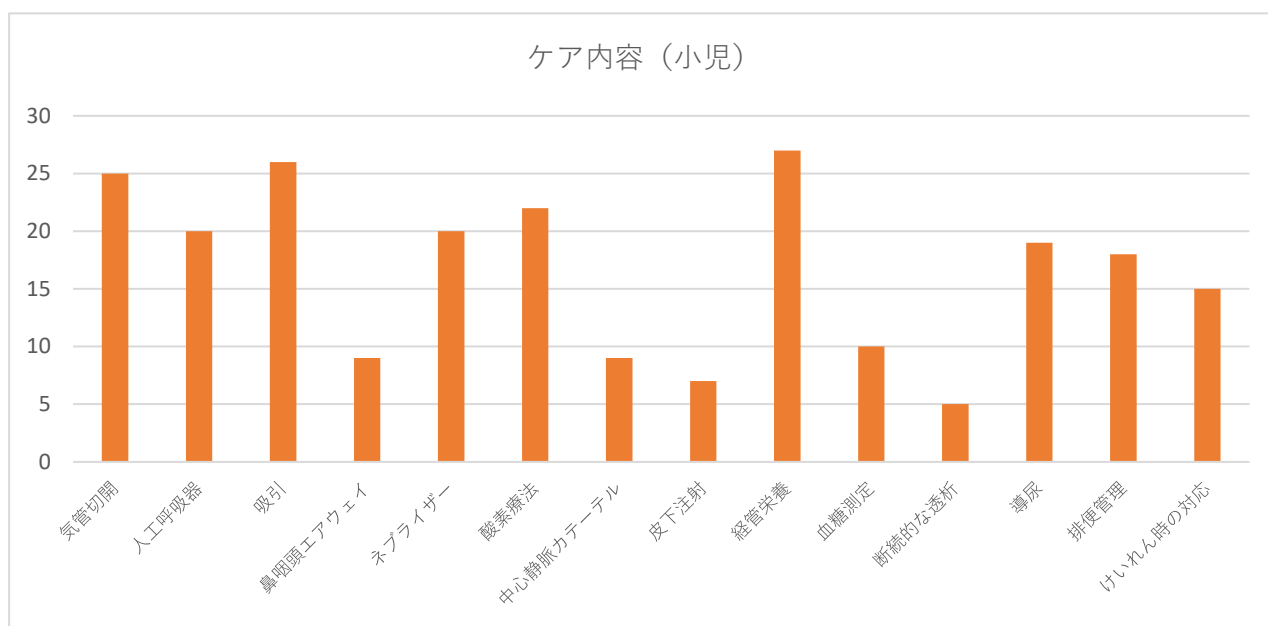
#### (1)小児のサービス内容

<小児>(38) 表14

	事務所数	割合
発達障害	24	63.2%
小児がん	5	13.2%
神経難病	17	44.7%

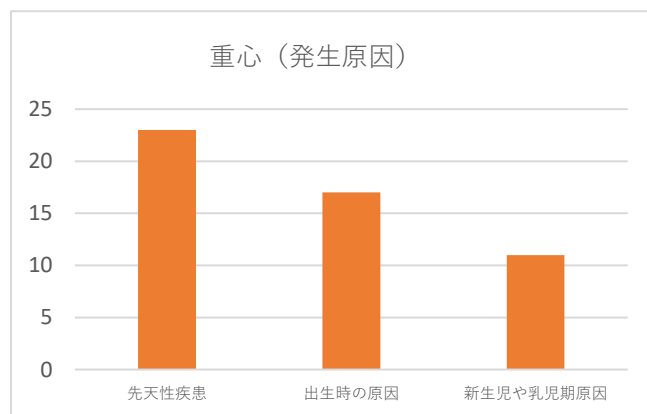
<医療的ケア児・者>(ケア内容)(38) 表15

	事務所数	割合
気管切開	25	65.8%
人工呼吸器	20	52.6%
吸引	26	68.4%
鼻咽頭エアウェイ	9	23.7%
ネブライザー	20	52.6%
酸素療法	22	57.9%
中心静脈カテーテル	9	23.7%
皮下注射	7	18.4%
経管栄養	27	71.1%
血糖測定	10	26.3%
断続的な透析	5	13.2%
導尿	19	50.0%
排便管理	18	47.4%
けいれん時の対応	15	39.5%



<重症心身障がい児・者>(発生原因)(38)表16

	事業所数	割合
先天性疾患	23	60.5%
出生時の原因	17	44.7%
新生児や乳児期原因	11	28.9%



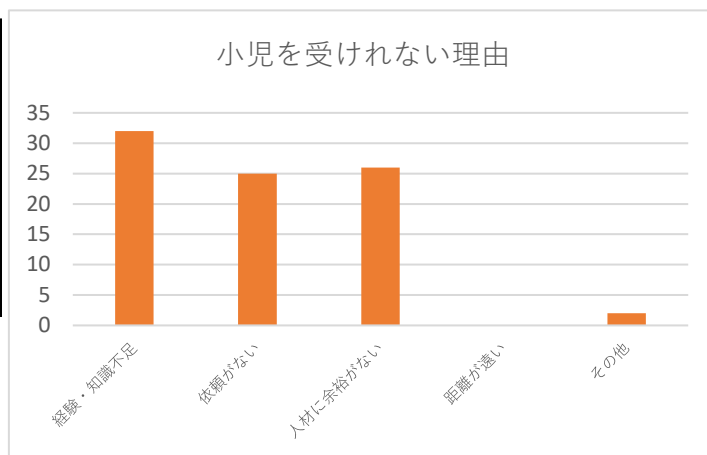
(2)小児を受けられない理由(45) 表17

	事業所数	割合
経験・知識不足	32	71.1%
依頼がない	25	55.6%
人材に余裕がない	26	57.8%
距離が遠い	0	0.0%
その他	2	4.4%

\*その他

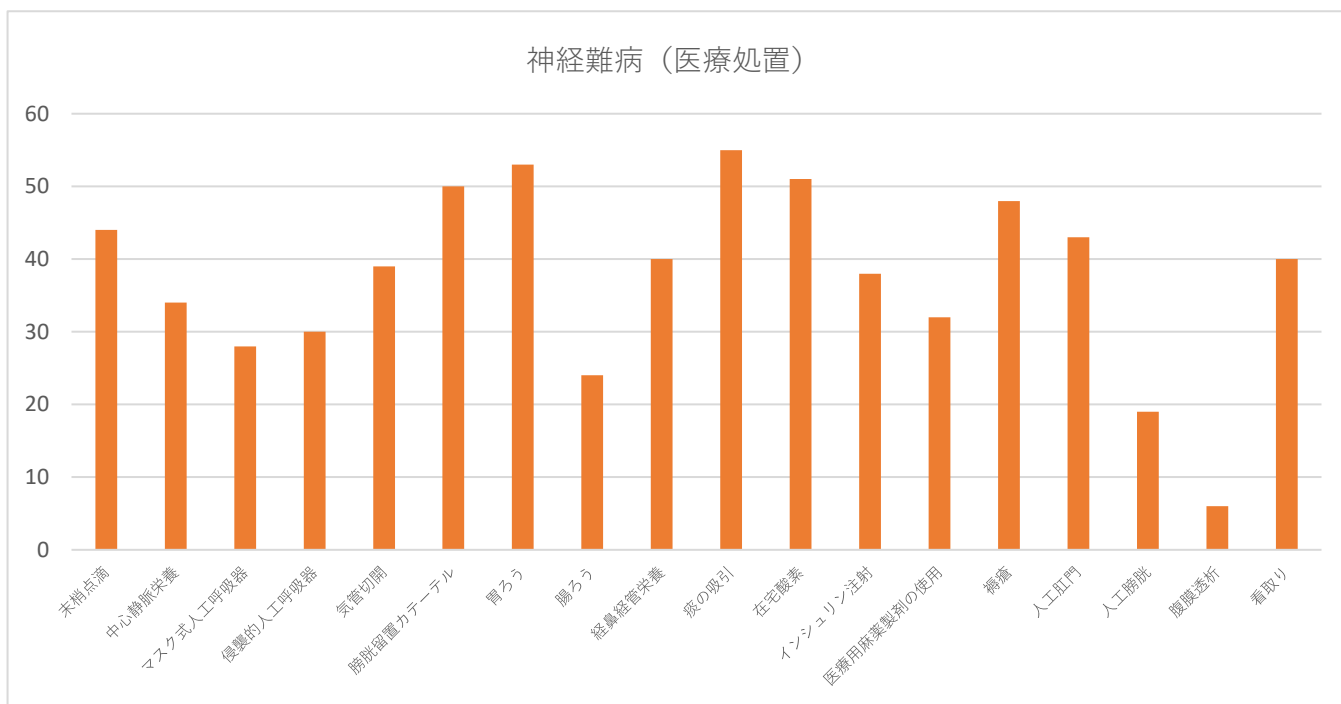
・今後受ける予定

・成人・老年期の依頼が多いため



(3)神経難病に対応している医療処置(72) 表18

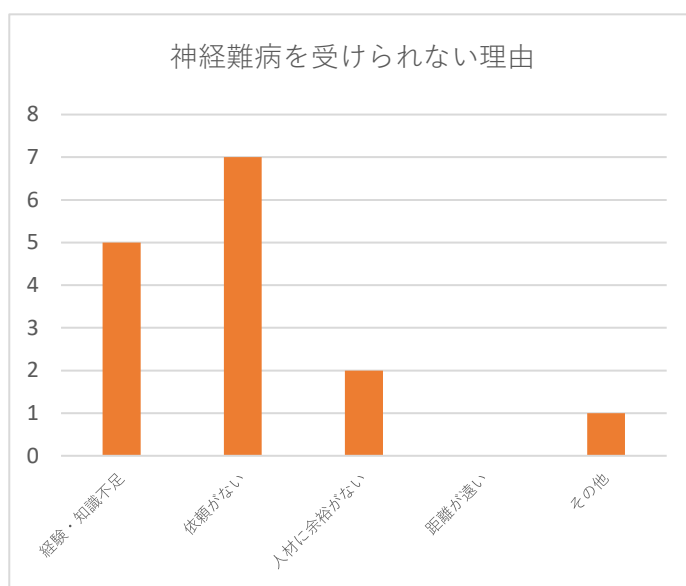
	事業所数	割合
末梢点滴	44	61.1%
中心静脈栄養	34	47.2%
マスク式人工呼吸器	28	38.9%
侵襲的人工呼吸器	30	41.7%
気管切開	39	54.2%
膀胱留置カテーテル	50	69.4%
胃ろう	53	73.6%
腸ろう	24	33.3%
経鼻経管栄養	40	55.6%
痰の吸引	55	76.4%
在宅酸素	51	70.8%
インシュリン注射	38	52.8%
医療用麻薬製剤の使用	32	44.4%
褥瘡	48	66.7%
人工肛門	43	59.7%
人工膀胱	19	26.4%
腹膜透析	6	8.5%
看取り	40	55.6%



(4)神経難病を受けられない理由(11) 表19

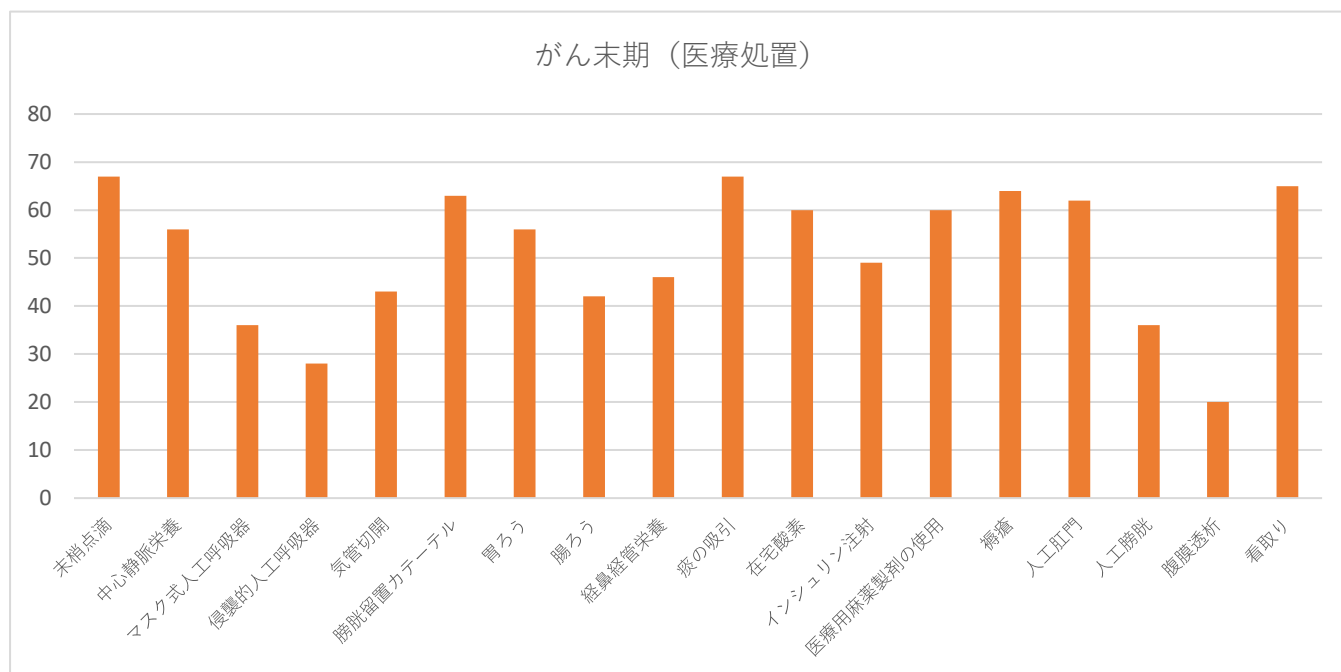
	事業所数	割合
経験・知識不足	5	45.5%
依頼がない	7	63.6%
人材に余裕がない	2	18.2%
距離が遠い	0	0.0%
その他	1	9.1%

\*その他 精神科対象のため



(5)末期がんに対応している医療処置(74) 表20

	事業所数	割合
末梢点滴	67	90.5%
中心静脈栄養	56	75.7%
マスク式人工呼吸器	36	48.6%
侵襲的人工呼吸器	28	37.8%
気管切開	43	58.1%
膀胱留置カテーテル	63	85.1%
胃ろう	56	75.7%
腸ろう	42	56.8%
経鼻経管栄養	46	62.2%
痰の吸引	67	90.5%
在宅酸素	60	81.1%
インシュリン注射	49	66.2%
医療用麻薬製剤の使用	60	81.1%
褥瘡	64	86.5%
人工肛門	62	83.8%
人工膀胱	36	48.6%
腹膜透析	20	27.0%
看取り	65	87.8%

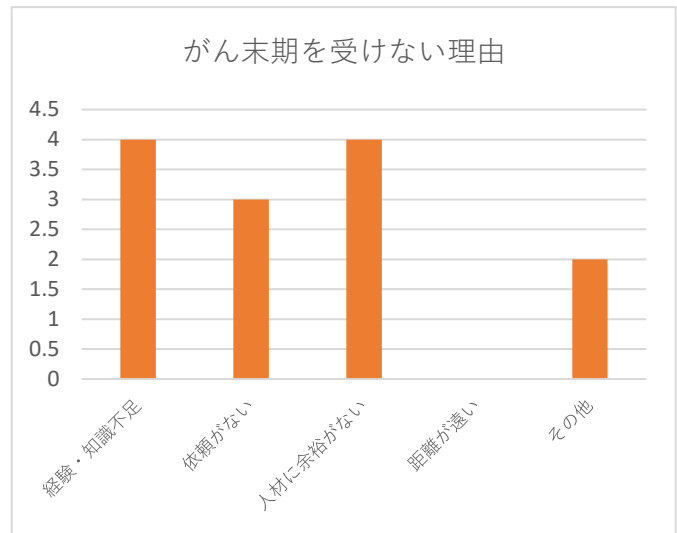


(6)末期がんを受けられない理由(9)

表21

	事業所数	割合
経験・知識不足	4	44.4%
依頼がない	3	33.3%
人材に余裕がない	4	44.4%
距離が遠い	0	0.0%
その他	2	22.2%

\*その他 24時間対応していない、対象が精神科のため



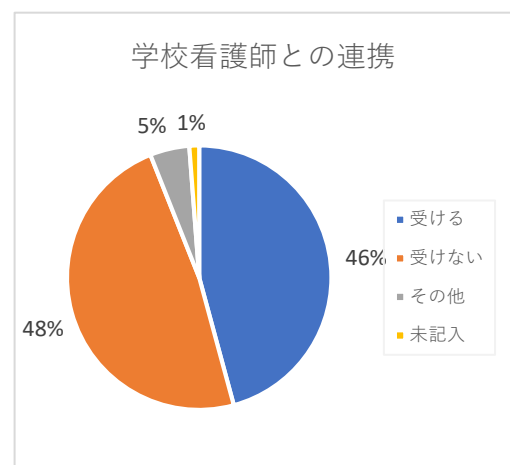
5)学校看護師のなどとの連携について

(1)学校看護師のなどとの連携依頼があったら受けるか

表21

受ける	38
受けない	40
その他	4
未記入	1

\*その他 前向きに考えたい、要相談

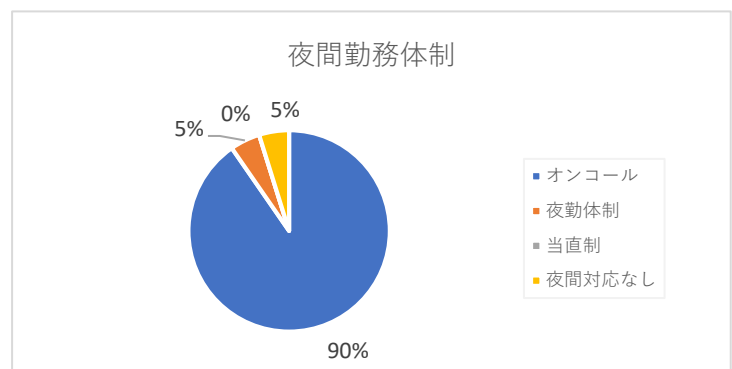
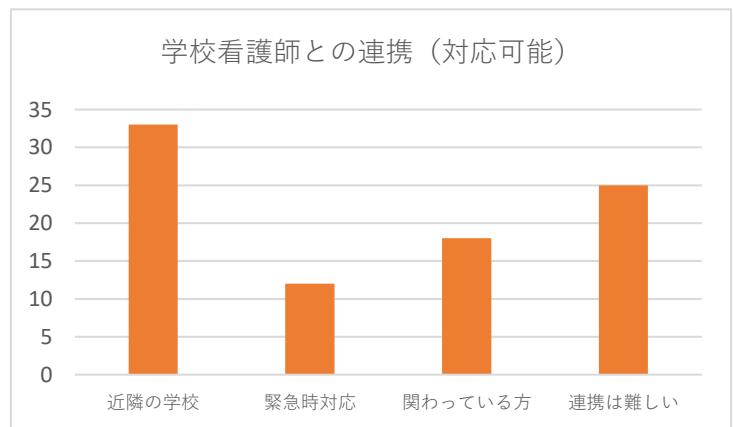


(2)学校看護師などとの連携で対応可能なもの(複数回答)

表22

近隣の学校	33
緊急時対応	12
関わっている方	18
連携は難しい	25

\*【問10】で受けないと回答していても関わっている方であれば可能に✓入っている場合あり



3. 夜間勤務体制

1)夜間の勤務体制

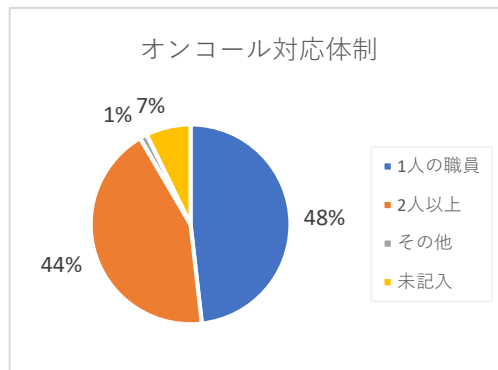
表23

オンコール	75
夜勤体制	4
当直制	0
夜間対応なし	4

2)オンコール対応体制 表24

1人の職員	40
2人以上	36
その他	1
未記入	6

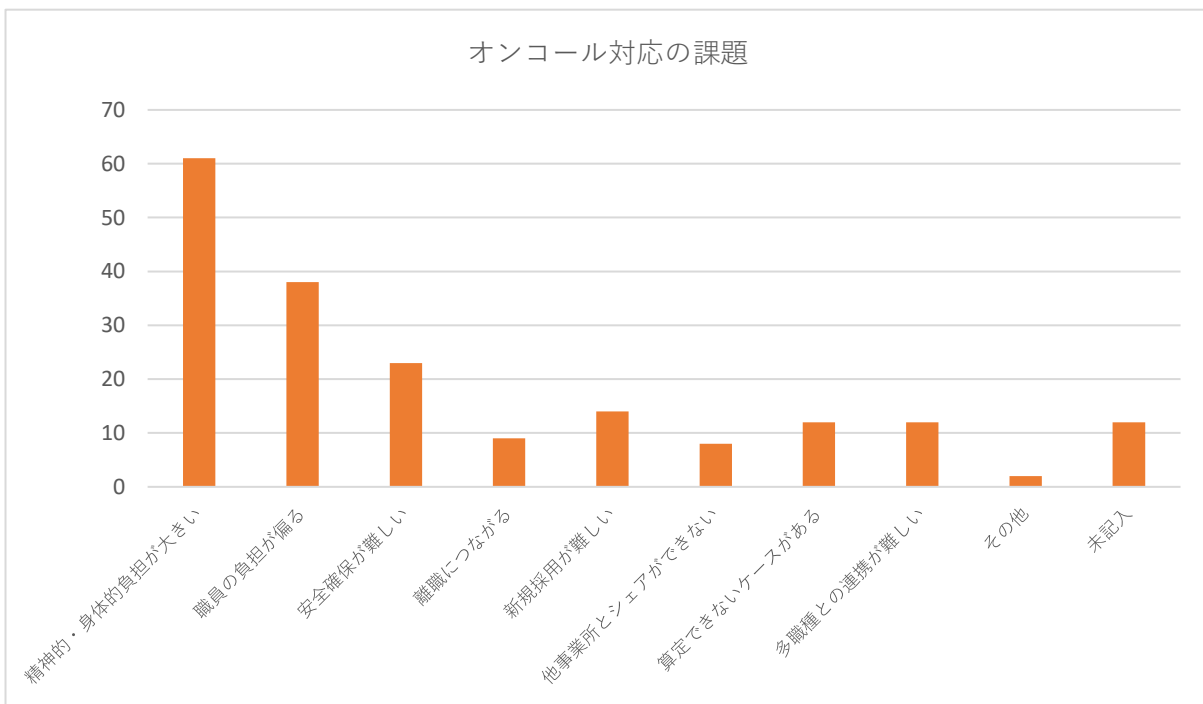
\*その他 24時間夜勤体制



3)オンコール対応の課題(複数回答) 表25

精神的・身体的負担が大きい	61
職員の負担が偏る	38
安全確保が難しい	23
離職につながる	9
新規採用が難しい	14
他事業所とシェアができない	8
算定できないケースがある	12
多職種との連携が難しい	12
その他	2
未記入	12

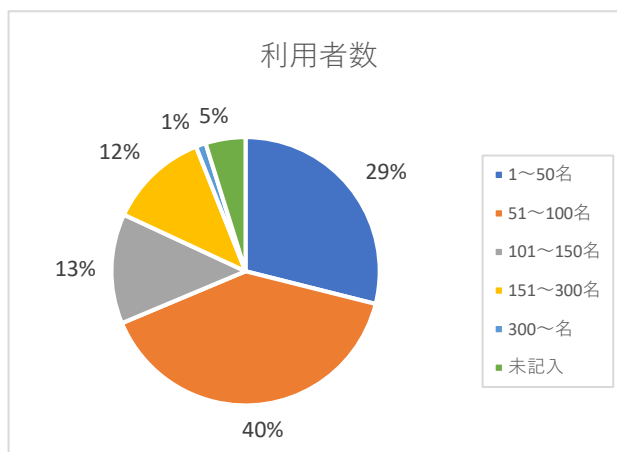
\*その他 熊が心配



#### 4. 利用者数

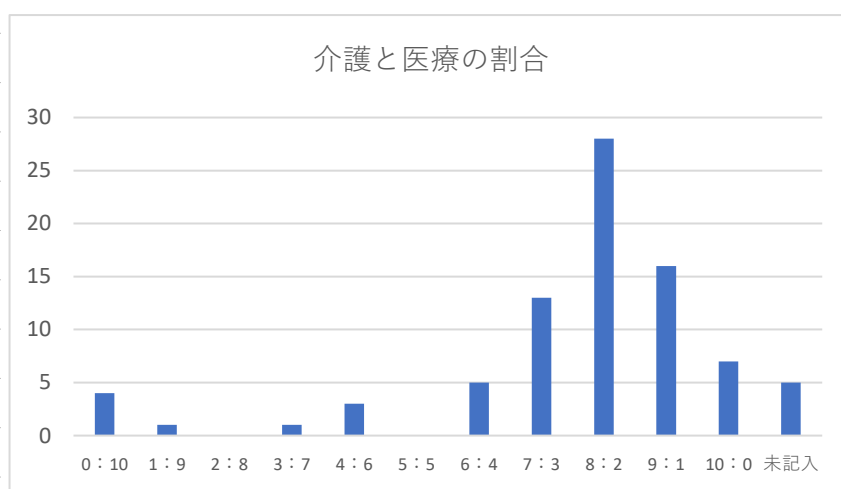
<2025年10月利用者数> 表26

1～50名	24
51～100名	33
101～150名	11
151～300名	10
300～名	1
未記入	4



1)介護保険と医療保険の比率 表27

介護:医療	事業所数	割合
0:10	4	4.8%
1:9	1	1.2%
2:8	0	0.0%
3:7	1	1.2%
4:6	3	3.6%
5:5	0	0.0%
6:4	5	6.0%
7:3	13	15.7%
8:2	28	33.7%
9:1	16	19.3%
10:0	7	8.4%
未記入	5	6.0%

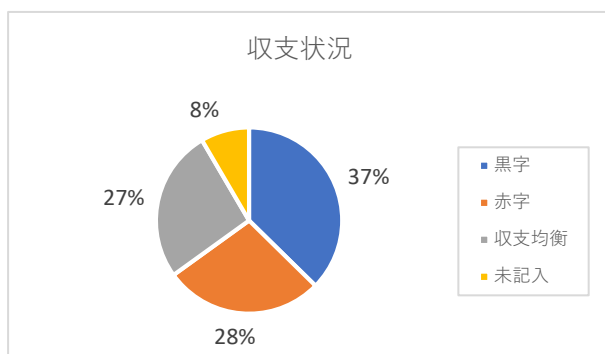


#### 5. 経営状況

1)2024年度の収支状況

表28

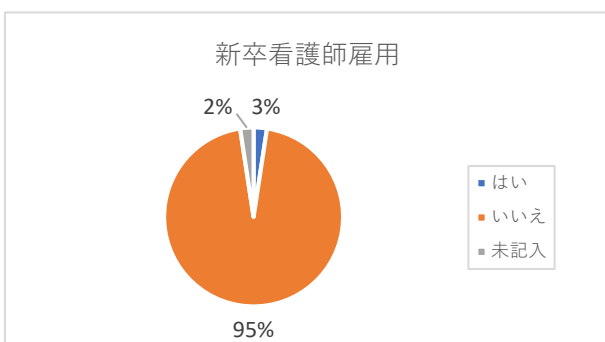
黒字	31
赤字	23
収支均衡	22
未記入	7



2)今年新卒看護師を雇用したか

表29

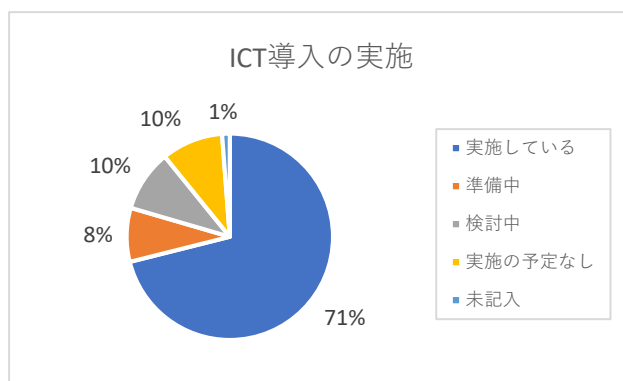
はい	2
いいえ	79
未記入	2



\*はい2事業所中1事業所は1人新卒看護師を雇用した。他の事業所は未記入であった。

3)ICT導入の実施状況 表30

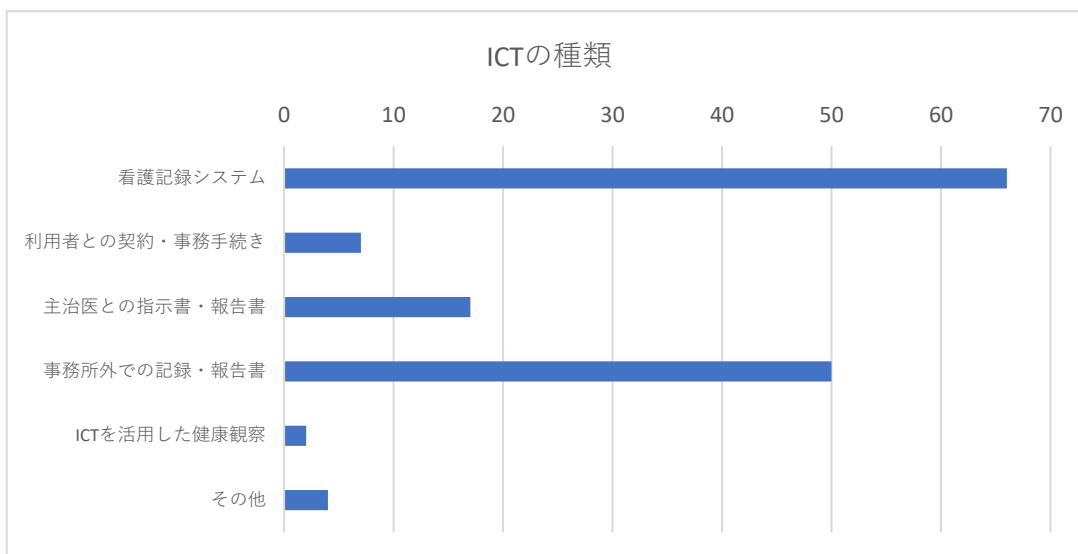
実施している	59
準備中	7
検討中	8
実施の予定なし	8
未記入	1



4)導入しているICTの種類(実施+準備 66)(複数回答) 表31

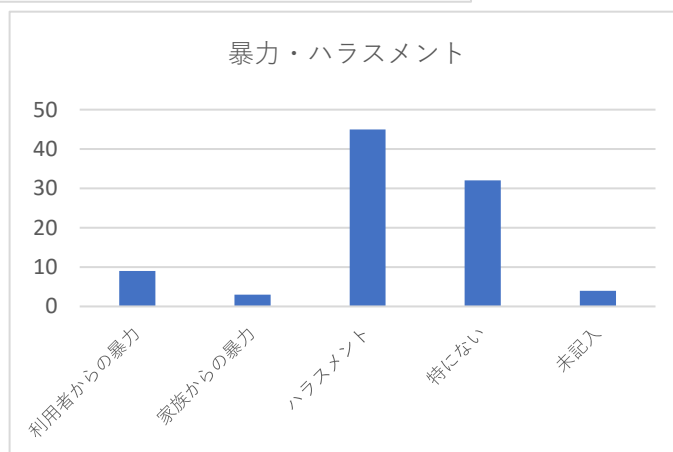
	事業所	割合
看護記録システム	66	100%
利用者との契約・事務手続き	7	10.6%
主治医との指示書・報告書	17	25.8%
事務所外での記録・報告書	50	75.8%
ICTを活用した健康観察	2	3.0%
その他	4	6.1%

\*その他 LINEワークス(2)、web会議、チャットツール



5)暴力・ハラスメントの有無(複数回答) 表32

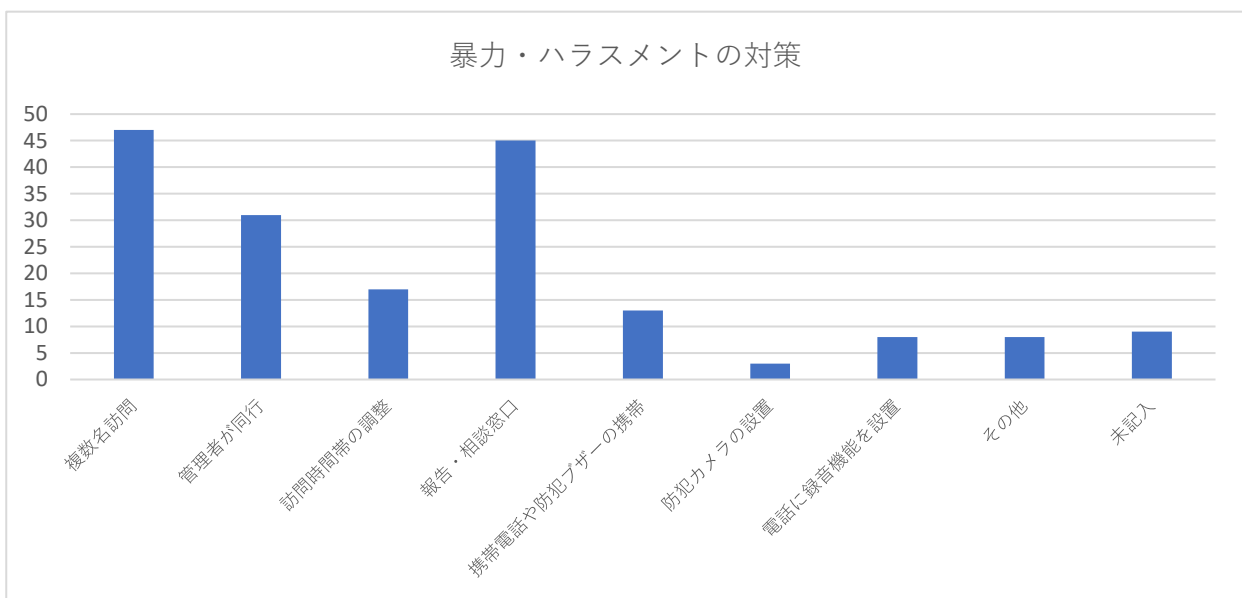
	事業所数	割合
利用者からの暴力	9	10.8%
家族からの暴力	3	3.6%
ハラスメント	45	54.2%
特にない	32	38.6%
未記入	4	4.8%



6)暴力・ハラスメントの対策(複数回答) 表33

複数名訪問	47
管理者が同行	31
訪問時間帯の調整	17
報告・相談窓口	45
携帯電話や防犯ブザーの携帯	13
防犯カメラの設置	3
電話に録音機能を設置	8
その他	8
未記入	9

\*その他 訪問者を限定、関係者で情報共有や対策の話し合い(3)、必要時警察に相談、訪問中ボイスレコーダー、男性スタッフ同行、録画

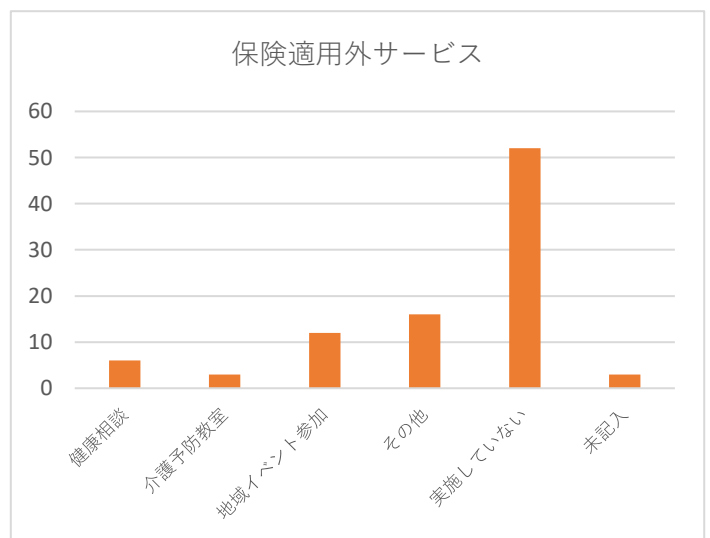


6. 保険外サービスの実施状況

1)保険適用外のサービス・事業・活動(複数回答)

表34

	事業所数	割合
健康相談	6	7.2%
介護予防教室	3	3.6%
地域イベント参加	12	14.5%
その他	16	19.3%
実施していない	52	62.7%
未記入	3	3.6%



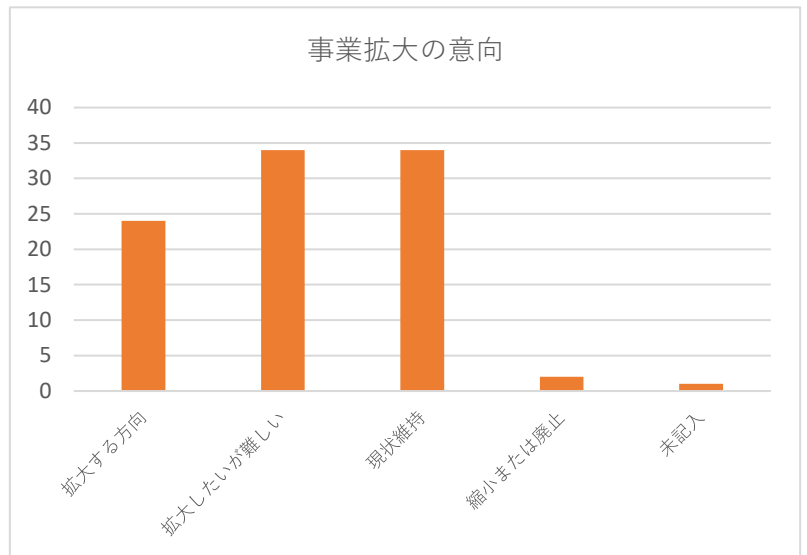
\*その他 診察介助、救急車対応、外出支援(2)、通所介護サービス事業所や施設への医療連携エンゼルケア、入退院介助、受診同行、自費訪問(2)、自費訪問リハ、町のレスパイト事業(2)、講師(3)

## 7. 今後の事業展開

### 1) 事業規模の拡大意向(複数回答)

表34

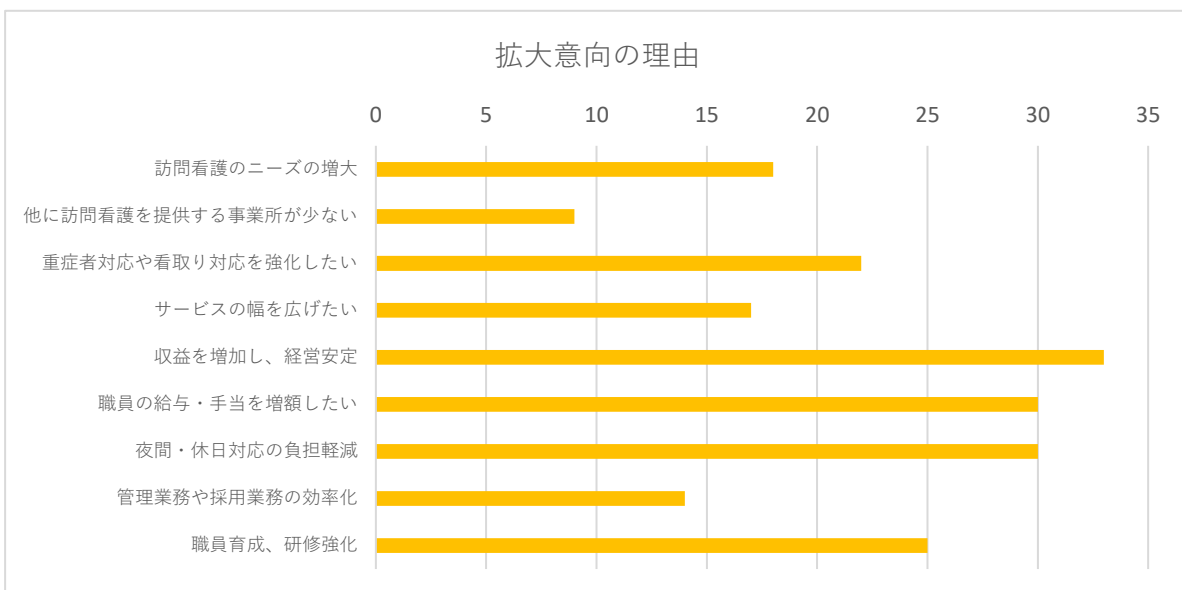
拡大する方向	24
拡大したいが難しい	34
現状維持	34
縮小または廃止	2
未記入	1



### 2) 拡大意向の理由(複数回答)

表35

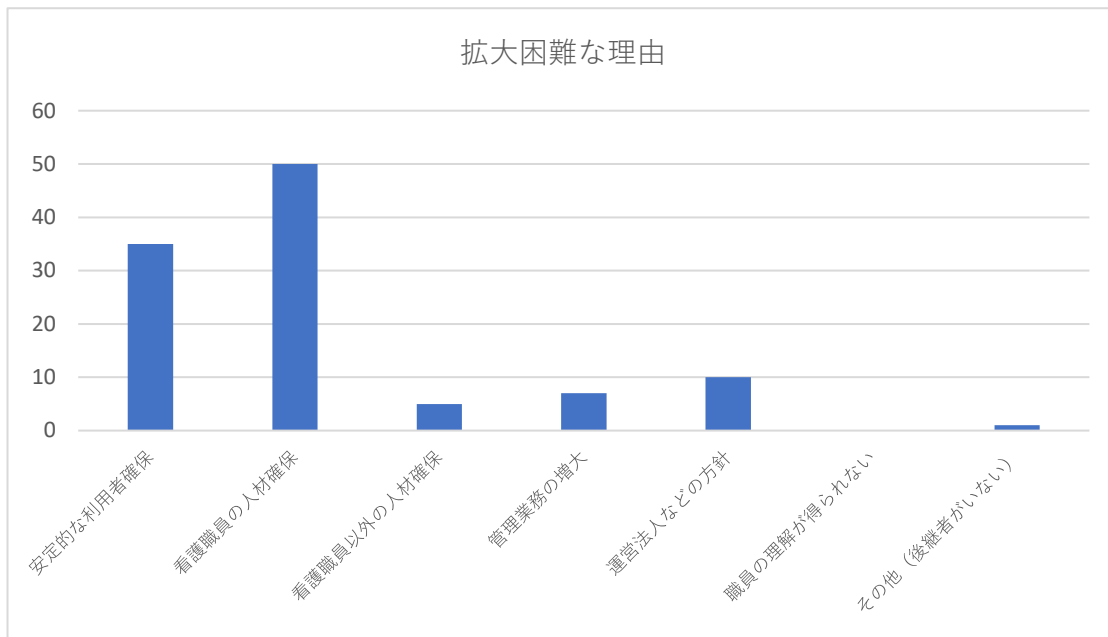
訪問看護のニーズの増大	18
他に訪問看護を提供する事業所が少ない	9
重症者対応や看取り対応を強化したい	22
サービスの幅を広げたい	17
収益を増加し、経営安定	33
職員の給与・手当を増額したい	30
夜間・休日対応の負担軽減	30
管理業務や採用業務の効率化	14
職員育成、研修強化	25



3) 拡大が困難な理由(複数回答)

表36

	事業所	割合
安定的な利用者確保	35	55.6%
看護職員の人材確保	50	79.4%
看護職員以外の人材確保	5	7.9%
管理業務の増大	7	11.1%
運営法人などの方針	10	15.9%
職員の理解が得られない	0	0.0%
その他(後継者がいない)	1	1.6%

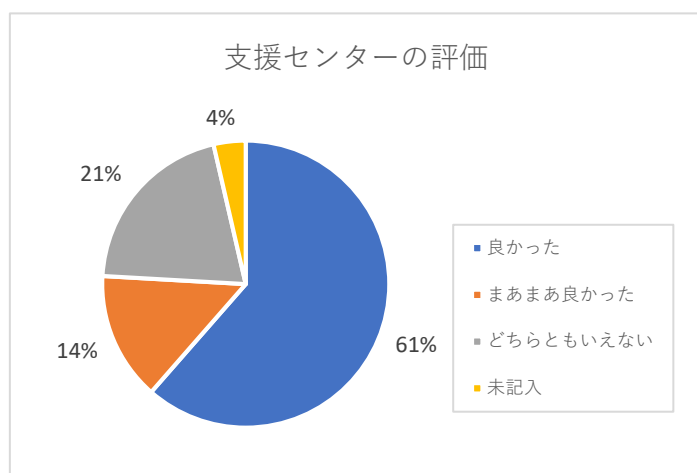


8. 岩手県訪問看護総合支援センター事業評価

1) 訪問看護総合支援センター設立の評価

表37

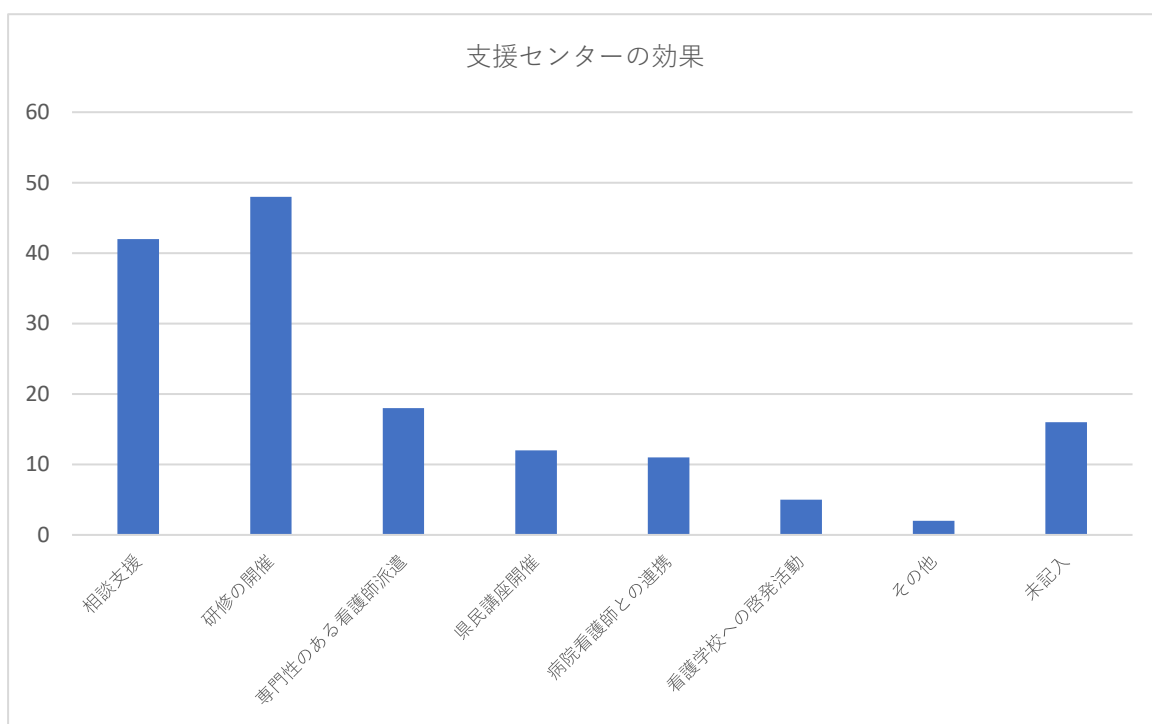
良かった	51
まあまあ良かった	12
どちらともいえない	17
未記入	3



## 2)訪問看護総合支援センター設立の効果(複数回答)

表38

	事業所数	割合
相談支援	42	50.6%
研修の開催	48	57.8%
専門性のある看護師派遣	18	21.7%
県民講座開催	12	14.5%
病院看護師との連携	11	13.3%
看護学校への啓発活動	5	6.0%
その他	2	2.4%
未記入	16	19.3%



## 3)訪問看護総合支援センターに期待する事

- ・運営指導（個別）・相談支援
- ・多様な研修（**BCP**・**法定研修**・新任訪問看護師の育成（指導者向け）など）
- ・研修の**Zoom配信**・**オンデマンド研修**・開催場所の検討
- ・地域事業所のつなぎ役
- ・人材確保の協力
- ・情報の取りまとめ（**運営や実働の参考にできる内容**）